

科 目 名		学年	
経営工学 I A: Management Engineering IA		4B	
教 員 名 狭間 雅義 HASAMA Masayoshi			
単位	授業時間	科目区分	
1	100分×15回	必修	
授業概要		学修単位	
4年以上になると応用的な内容の学習と共に、これまで習得した“経営”と“情報”の知識を融合・発展させる必要がある。そのためには客観的に分析する。数理的な知識が不可欠である。この経営工学 I A 後期の経営工学 I B ではオペレーションズ・リサーチを扱い、“経営”および“情報”を解決させる効率化、最適化の手法を学ぶことを目的とする。		○	
到達目標		評価方法	
(1)線形計画法、輸送問題、日程計画法などの基礎的な手法の理解をする (2)演習問題を解くことで、より理解を深め、現実のさまざまな問題に対して適用ができる		①中間試験(30%)、②期末試験(30%)③自学自習レポート(40%)によって評価する。	
学習・教育目標		(E)②	
		JABEE基準1(1)	
		(d)-(2)	
授 業 計 画	回	項 目	内 容
	第1	経営工学の概要	経営工学の位置づけ、オペレーションズリサーチの紹介、必要な数学の基礎知識
	第2	線形計画法①	関数の復習と図式解法
	第3	線形計画法②	シンプレックス法(最大化問題)
	第4	線形計画法③	シンプレックス法(最小化問題)、双対問題、前回の復習
	第5	輸送問題①	初期解が北西隅の方法 飛び石法で改善により最適解を求める
	第6	輸送問題②	輸送問題の応用
	第7	中間まとめ	中間試験の実施
	第8	日程計画法①	日程計画法の目的、スケジュールの組み方
	第9	日程計画法②	スケジュールの設定の方法、日程短縮、日程指定
	第10	日程計画法③	3点見積もり法、まとめの演習
	第11	動的計画法	最短経路検索問題と人員店舗配置問題
	第12	需要予測①	移動平均法と指数平滑法の予測
	第13	需要予測②	相関・回帰分析による予測
	第14	練習問題	経営工学 I A のまとめ、演習問題
第15	まとめ	全体の学習事項のまとめと授業評価アンケート調査を行う。	
自学自習の内容		課題プリントを5回出題(第4回、第6回、第10回、第11回、第13回)する。課題とは別に練習問題を毎回配布する	
関連科目		経営統計学 I・II(第12回、第13回)	
教科書		毎回、プリント資料(板書に対応)を配布する	
参考書		OR入門 意思決定の基礎 小和田正 沢木勝茂 加藤 豊共著	
授業評価・理解度		最終回に授業評価アンケートを行う。	
副担当教員			
備考		参考書等は一冊ではないため適宜紹介する。	